

浦安小学校避難所開設・運営マニュアル

本マニュアルは、児童が在籍している平日の昼間において、大規模な地震が発生し、浦安小学校に避難所を開設する場合の初動活動について、避難者（住民）の役割分担を示したものである。

平成28年3月

<はじめに>

浦安市で大きな地震等の災害が発生した場合、建物の被害やライフライン、交通、流通の停止など相当な混乱の中で、被災者は避難所においてかなりの期間、共同生活を過ごすことが予想される。

その場合、できるだけ混乱や迷惑をなくしてスムーズな避難所の開設や運営が行われるよう行政だけでなく、地域自治会、地域住民の代表者やボランティアによる避難所運営を基本とし、行政と連携を取りながら避難所を運営することとなる。効率的な運営が図られるよう学校別の避難所マニュアルを作成し、実際の災害に備えておく必要がある。

本マニュアルは、災害発生時において、避難所となる浦安小学校の独自のマニュアルとして作成し、防災備蓄倉庫に常備することとする。

平成28年 3月

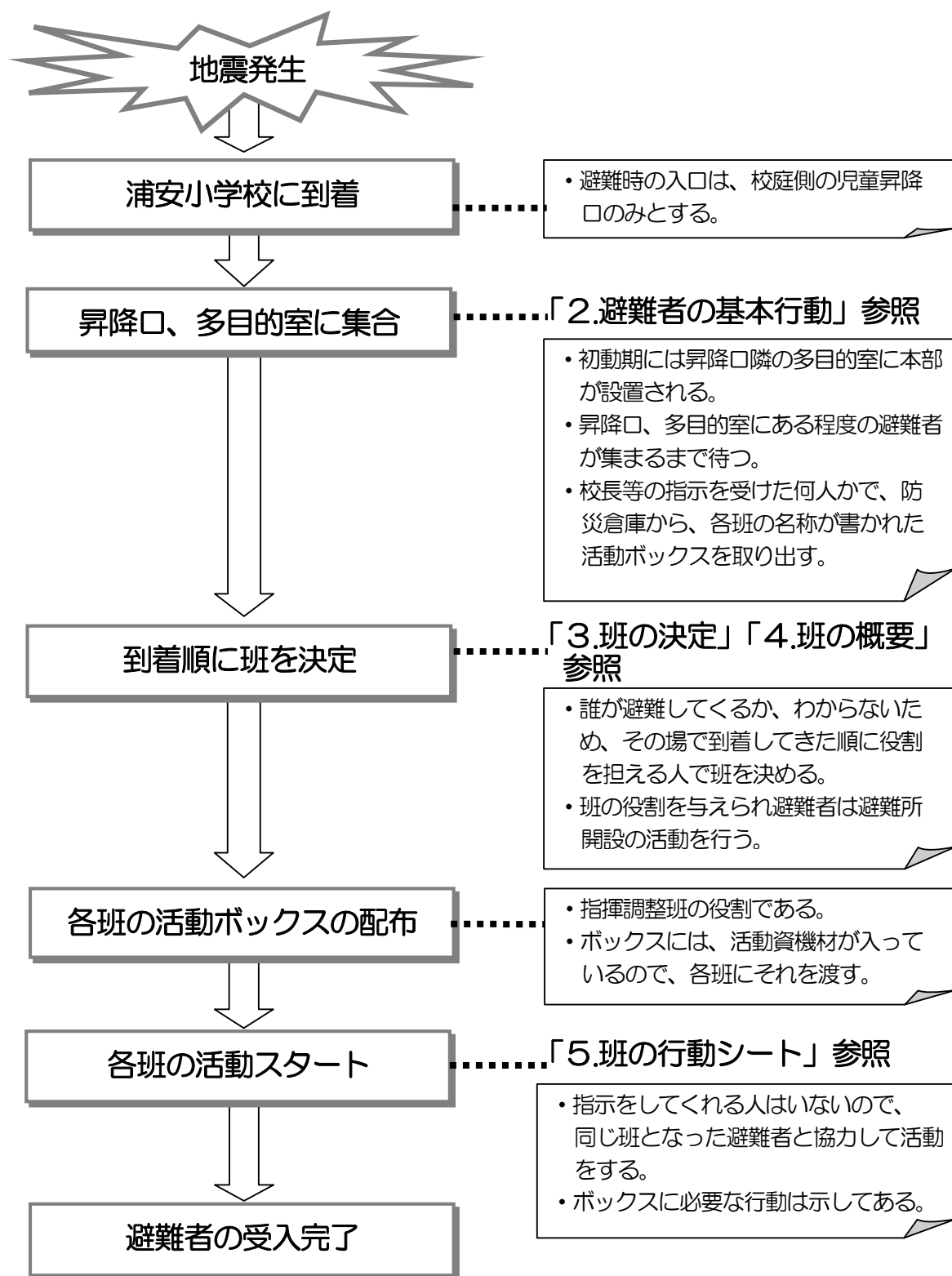
浦安小学校避難所運営マニュアル策定委員会

目 次

1	避難所開設・運営の流れ	3
2	避難者の基本行動	4
3	班の決定	5
4	班の概要	7
5	班の行動シート	8
	○ 指揮調整班（本部）	8
	○ 避難者誘導・掌握班（1階担当）	10
	○ 避難者誘導・掌握班（体育館担当）	12
	○ 避難者誘導・掌握班（2階担当）	14
	○ 避難者誘導・掌握班（3階担当）	16
	○ 体育館スペース作成班	18
	○ 施設点検班	20
	○ 仮設トイレ設置班	21
	○ 備蓄機材確認班	22
資 料		
	避難所開設時の施設計画	24
	避難所運営時の施設計画	25
	避難世帯調査票（避難世帯・帰宅困難者）	26
	備蓄品一覧	27
	施設点検チェックリスト	28
	自治会・管理組合一覧	29

1 避難所開設・運営の流れ

それぞれの避難者は、次のフローにしたがって、各自が役割をもって、避難所の開設・運営の初動活動を行う。



※その後、本格的な避難所の運営がスタートする。

2 避難者の基本行動

- ① 避難所の入り口は、校庭側児童昇降口のみとする。
- ② 履いてきた靴は、昇降口で脱ぎ、そのまま手に持って施設内に入る。
※校舎内では、衛生面から、原則、上履きに履き替える。ただし、余震など危険への対応の場合はこの限りではない。
※可能な限り、学校への避難にあたり上靴を持参する。上靴がない場合には、避難者用スリッパを使用する。
※昇降口にレジ袋を用意し、必要であれば使用する。
※体育館は、帰宅困難者の避難場所としている。帰宅困難者についても、避難者用スリッパを使用する。
- ③ 小学校に通学している児童がいる避難者（保護者等）は、児童を引き取り後、避難スペースに移動する。
※引き取り場所が校庭の場合は校庭で、体育館の場合は、児童育成クラブ前の出入口から体育館に入り、体育館の非常口（校庭側）から一度校庭に出て避難スペースに移動する。
- ④ 係員等の誘導により避難スペースへ移動する。
- ⑤ 避難スペースでは、机・イスを指定された場所に移動してスペースを確保する。
- ⑥ トイレ、水道は水が出ても使用禁止とする。仮設トイレの設置、給水準備が済むまで待つこと。
- ⑦ ペットは避難所内（校舎内）には持ち込むことはできない、飼い主の責任で保護する。
※共同生活ということから、ペットは校舎内に持ち込むことができない。（動物アレルギーの人もいる。）校庭への持ち込みも原則断る。（この件については、事前に周知する。）
※⑦については、原則とする。ただ、実際の場合においては連れてくる避難者がいることが考えられる。緊急、安全面等でやむをえない場合には、運動場体育館側低鉄棒付近のスペースに安全につなぐ。
なお、安全が危惧される動物、他の避難者に不安を感じさせる動物については持ち込みを認めない。

3 班の決定

- ① 最初に到着した避難者は、多目的室でしばらく待機をする。
- ② 校長、教頭、ないしは校長から依頼された地域の代表の指示を受け、防災倉庫から各班の活動ボックス（9個）及び避難者用スリッパ入りボックス（2個）を多目的室に運ぶ。
- ③ はじめに避難してきた人で避難所開設の役割を担える人から指揮調整班の役割を担う。指揮調整班の活動ボックスを確認し、本部開設の準備にあたる。
 ※長机3脚（会議室）、パイプ椅子3脚（体育館）、移動黒板2台（放送室、3階教材室）、を多目的室に運び入れる。
- ③ 避難所到着後、役割を担うことが可能な避難者は、班の役割を与えられ避難所開設の活動を行う。
 ※幼児を連れてくる避難者、介護する人を連れてくる避難者に役割は難しいと考える。以下の避難者には、役割を割り振らない。
 　○小学生低学年以下の児童・幼児を連れてくる親（両親がそろっている場合は父母いずれかに役割を担っていただく）
 　○介護者を連れてくる人　○役割を担うことが難しい高齢者等
- ④ 班の割り当ては、役割を担うことができる避難者で、避難所に到着した順番により以下のように割り当てられる。
- ⑤ 原則として、**番号**は、リーダーとなって班員への指示や連絡調整の役目を果たす。

◆役割を担うことができる方で到着の順番による班の割り当て表

指揮調整班	避難者誘導・把握班	施設点検班	体育館避難スペース作成班	仮設トイレ設置班	備蓄資機材確認班
1 2 3 4 5		6 7 8 9		10 11 12 13	
	18 19 20 21 22 23 24 25 26 31 32 33		14 15 16 17		
指揮調整班	避難者誘導・把握班	施設点検班	体育館避難スペース作成班	仮設トイレ設置班	27 28 29 30 備蓄資機材確認班
	40 41 42 43 44 45		37 38 39		

※到着順 46位以降は、活動状況を見て、指揮調整班が班を指示する。

- ⑥ 役割を担うこととなった避難者は、役割班と名前を記載した名札を首に掛ける。
 (用意された名札に各自で役割班と名前を記載する。)
- ⑦ 役割を担うこととなった避難者は、本部に掲示された表に各自で該当する箇所に名前を記載する。

◆役割担当者一覧表

指揮調整班	避難者誘導・把握班	施設点検班	体育館避難スペース作成班	仮設トイレ設置班	備蓄資機材確認班
① 浦安太郎	⑮ 猫実花子	⑥ 当代島一郎	⑭ 境川次郎	⑩ 元町三佐	⑳ 江戸川幸
② ○○○○	⑰ ○○○○	⑦ ○○○○	⑮ ○○○○	⑪ ○○○○	㉑ ○○○○
③ ○△○△	⑳	⑧	⑯	⑫	㉒
④ ○□○□	㉑	⑨	⑰	⑬	㉓
⑤ △○△○	22		34		

◆名札記載方法

指揮調整班 ①

浦安太郎

4 班の概要

班の活動の概要は、次のとおりです。具体的な行動は、「5 班の行動シート」を参照すること。

1) 指揮調整班

- ① 校長、教頭等と連絡をとり、避難所開設のための調整を行い、何を行うのか必要な事項を確認する。
- ② 指揮調整班は、昇降口隣の多目的室に本部を設ける。
- ③ 指揮調整班が避難所の本部運営の中心となる。
- ④ 校舎内では、上靴の使用を避難者に指示する。避難者用スリッパを用意し、上靴のない避難者に貸し出す。また、下足用レジ袋を提供する。
- ⑤ 次々に避難してくる住民に協力を呼びかけ、班及び役割を指示する。
- ⑥ 各班の活動状況を常に把握し、必要な指揮・調整をとる。

2) 避難者誘導・把握班

- ① 避難者に避難スペースの案内を行うとともに避難スペースの準備を指示する。
- ② 避難者名簿に記入させ、避難者数・世帯数を把握する。
- ③ 説明原稿をもとに、施設の利用の仕方について避難者に説明する。

3) 施設点検班

- ① 立ち入り禁止場所、使用禁止施設の表示を行う。（日本語・外国語）
- ② 学校側と協力して避難所全体の安全点検を行う。

4) 体育館避難スペース作成班

- ① 体育館に個々の避難スペースを作成する。
- ② はじめに本校舎以外避難者スペースにビニールテープを貼って、個々のスペースを作っていく。引き渡し園児、児童がいなくなってから全体にビニールテープを貼っていく。

5) 仮設トイレ設置班

- ① 備蓄倉庫から、仮設トイレを搬出する。
- ② 校庭西側（中央公民側）に仮設トイレを設置する。

6) 備蓄資機材確認班

- ① 備蓄倉庫の資機材の有無を確認する。
- ② 終了後は、仮設トイレ設置班を応援する。

5 班の行動シート

指揮調整班（本部）

◆配置場所：多目的室（昇降口隣の部屋）

◆行 動：

- ① 最初に到着した人で、役割を担える人から指揮調整班を務める。校長、教頭等と連絡を取り、避難所開設のための調整を行う。
- ② 長机、移動黒板等を多目的室前廊下に出して本部の設置を行う。
- ③ 指揮調整班の活動ボックス内の指示書を確認する。
- ④ 班の割り当て表、役割担当者一覧表、避難所開設時の施設計画図を2台の移動黒板に掲示する。
- ⑤ 下足用レジ袋を必要な避難者に渡す。避難者用スリッパについても必要な人に渡す。
- ⑥ 昇降口にて、避難者で役割を担うこととなった人に到着順に該当する班を割り当て、役割担当者一覧表に名前を記載してもらう。併せて名札を渡し名前を記載してもらう。名札については首に付けるようにする。
- ⑦ 各班のボックスを各班のリーダーに渡し、指示を行う。
ボックス番号
 - 1 指揮調整班
 - 2 避難者誘導・把握班（1階担当：要援護者、女性専用エリア）
 - 3 避難者誘導・把握班（体育館担当：本校舎以外避難者、引き渡しエリア）
 - 4 避難者誘導・把握班（2階担当：猫実4、当代島・北栄・その他エリア）
 - 5 避難者誘導・把握班（3階担当：猫実3、5エリア）
 - 6 施設点検班
 - 7 体育館避難スペース作成班
 - 8 仮設トイレ設置班
 - 9 備蓄資機材確認班
- ⑨ 立入禁止エリアのとりまとめを行う。
- ⑩ 避難世帯数のとりまとめ及び校長、派遣されてきた市職員へ報告を行う。
- ⑪ 各班の活動状況をとりまとめる。
- ⑫ その他避難所の状況は、校長・教頭・市職員に報告する。

必要品一覧【指揮調整班】 ※印以外のものが「指揮調整班活動ボックス」に入っている。

必要品	個数		行動（内容）
※長机	2	脚	会議室から運ぶ。
※移動黒板	2	台	放送室及び教材室（3階西トイレ前）から運ぶ。
※パイプ椅子	3	脚	体育館から運ぶ。
※避難者用スリッパボックス	1	セット	上靴のない避難者に渡す。
「本部」張り紙	2	枚	本部の机の前に貼る。
「避難者受付」張り紙	2	枚	避難者受付の机の前に貼る。
下足用レジ袋	1	式	
名札	1	セット	役割を担える人に順に渡す。
名前ペン	3	本	名札に役割班、名前を書く。
避難者名簿作成キット	1	セット	避難者の名簿を作成する。
避難者の基本行動表	1	枚	移動黒板に掲示する。
班の割り当て表	1	枚	移動黒板に掲示する。
役割担当者一覧表	1	枚	移動黒板に掲示する。
マジック（太）（黒）	2	本	役割担当者一覧表に名前を記載する。
避難所施設計画図	1	枚	移動黒板に掲示する。
避難世帯数報告書	1	式	各階、体育館の把握班から報告をまとめる。
セロテープ	1	個	
鉛筆	1	式	
腕章	5	個	指揮調整班（5）

避難者誘導・把握班（1 階担当）

◆行 動：

- ① 避難者誘導班・把握班（1 階担当）の活動ボックス内の指示書の内容を確認する。

【誘導班】 多目的室前（3名）

- ① 避難者に何階に避難するか、移動黒板の「施設設計図」を見せながら誘導する。
- ② 猫実3丁目、猫実4丁目、猫実5丁目、当代島・北栄・その他（学区外）以外の避難者は体育館に誘導する。
- ③ 児童を引き取りに来た保護者を体育館に誘導する。
- ④ 児童を引き取ったあと学校に避難する方に、避難者受付に戻り、避難スペースの場所を確認するよう指示する。
- ⑤ 車イス、歩行が不自由な避難者は、なかよし学級教室（要援護者避難スペース）に誘導する。

【把握班】 要援護者避難スペース（2名）

- ① 避難者の受付を行う。（世帯数の把握となかよし学級教室への案内）
- ② 避難世帯調査票を書いてもらい回収する。
- ③ 終了後、人数、世帯数を本部へ報告する。

必要品一覧【避難者誘導・把握班】（1階担当）

必要品	個数		行動（内容）
1階誘導班			
「児童引取保護者体育館へ」矢印	1	枚	児童を引き取りに来た保護者を体育館に誘導する。
「猫実3丁目 3階5-2、6-1、6-2へ」矢印	1	枚	猫実3丁目の避難者を避難場所に誘導する。
「猫実4丁目 2階3-1、3-2、図工室へ」矢印	1	枚	猫実4丁目の避難者を避難場所に誘導する。
「猫実5丁目 3階4-1、4-2、5-1へ」矢印	1	枚	猫実5丁目の避難者を避難場所に誘導する。
「北栄・当代島・その他」 2階1-1、1-2、2-1、2-2へ」矢印	1	枚	「北栄・当代島・その他（学区外）」の避難者を避難場所に誘導する。
セロテープ	1	個	
1階把握班			
避難者世帯調査票	1	式	避難されて来た方々に記入していただく（要救護の避難者）
鉛筆	1	式	
腕章	5	個	避難誘導班（3） 把握班（2）

避難者誘導・把握班（体育館担当）

◆行 動：

- ① 避難者誘導班・把握班（体育館担当）の活動ボックス内の指示書の内容を確認する。

【誘導班】

（１）体育館２階入口（２名）

- ① 児童を引き取りに来た保護者を児童待機スペースに案内する。
- ② 市外の方など、本校舎に避難スペースのない避難者を避難スペースに案内する。
（猫実３丁目、猫実４丁目、猫実５丁目、当代島・北栄・その他（学区外）以外の避難者）

（２）体育館２階出口（校庭側）の扉前（２名）

- ① 児童を引き取った保護者を校庭側に誘導する。このまま、自宅等に戻られる場合は、そのまま帰宅してもらう。学校に避難される方については、本校舎１階ブレイルーム前本部の避難者受付まで戻って避難スペースを確認するよう指示する。
- ② 本校舎に避難する場合も校庭側扉から一度校庭に出て、昇降口に向かうよう指示する。

【把握班】

（１）体育館避難スペース（３名）

- ① 長机２脚、パイプ椅子３脚をステージ下から出して、体育館避難スペースの受付を設置する。
- ② 移動黒板を体育館倉庫から出して受付場所に設置し、体育館利用図を掲示する。
- ③ 避難者の受付を行う。（世帯数の把握）
- ④ 避難世帯調査票を書いてもらい回収する。
- ⑤ 人数、世帯数を本部へ報告する。

必要品一覧【避難者誘導・把握班】（体育館担当）

※印以外のものが避難者誘導班・把握班（体育館担当）の活動ボックスに入っている。

必要品	個数		行動（内容）
体育館誘導班			
「体育館出口」表示	1	枚	運動場扉近くに掲示。
「体育館から出るときの注意」	1	枚	運動場扉近くに掲示。
セロテープ	1	個	
体育館把握班			
※長机	2	脚	体育館受付用 体育館ステージ下のものを利用。
※パイプ椅子	3	脚	体育館受付用 体育館ステージ下のものを利用。
※移動黒板	1	台	体育館倉庫のものを利用。
「体育館利用図」	1	枚	移動黒板に掲示。
「避難者の基本行動」表	1	枚	移動黒板に掲示。
避難世帯調査票	1	式	避難されて来た方々に記入していただく。
鉛筆	1	式	
腕章	7	個	避難誘導班（4） 把握班（3）

避難者誘導・把握班（2階担当）

◆行 動：

- ① 避難者誘導班・把握班（2階担当）の活動ボックス内の指示書の内容を確認する。

【誘導班】 東階段2階（1名）

- ① 誘導掲示ボード2階を持つ。
- ② 猫実4丁目、当代島・北栄・その他（学区外）の避難者を2階に誘導する。
- ③ 猫実3丁目、猫実5丁目の避難者を3階に誘導する。

【把握班】

（1）猫実4丁目避難場所（2名）

- ① 避難者に教室の机・椅子を前の黒板側に寄せるよう指示する。
- ② 3－2の教卓を廊下に出し、受付を作り、猫実4丁目の避難者の受付を行う。
（世帯数の把握と教室への案内）
- ③ 避難世帯調査票を書いてもらい回収する。
- ④ 人数、世帯数を本部へ報告する。

（2）北栄・当代島避難場所（2名）

- ① 2－1の教卓を廊下に出し、受付を作り、北栄・当代島の避難者の受付を行う。
（世帯数の把握と教室への案内）
- ② 避難世帯調査票を書いてもらい回収する。
- ③ 人数、世帯数を本部へ報告する。

（3）その他（学区外）避難場所（2名）

- ① 避難者に教室の机・椅子を前の黒板側に寄せるよう指示する。
- ② 1－2の教卓を廊下に出し、受付を作り、その他（学区外）の避難者の受付を行う。
（世帯数の把握と教室への案内）
- ③ 避難世帯調査票を書いてもらい回収する。
- ④ 人数、世帯数を本部へ報告する。

必要品一覧【避難者誘導・把握班】（2階担当）

必要品	個数		行動（内容）
2階誘導班			
誘導掲示ボード	1	枚	各避難場所を示したもの
2階把握班			
「猫実4丁目」貼り紙	1	枚	受付の前に貼り出す。（受付用机3－1教卓）
「北栄・当代島」貼り紙	1	枚	受付の前に貼り出す。（受付用机2－1教卓）
「その他（学区外）」貼り紙	1	枚	受付の前に貼り出す。（受付用机1－2教卓）
セロテープ	1	個	
避難者世帯調査票	1	式	避難されて来た方々に記入していただく。
鉛筆	1	式	
腕章	7	個	避難誘導班（1） 把握班（6）

避難誘導・避難者把握班（3階担当）

◆行 動：

- ① 避難者誘導班・把握班（3階担当）の活動ボックス内の指示書の内容を確認する。

【誘導班】 東側階段3階（1名）

- ① 誘導掲示ボード3階を持つ。
- ② 猫実3丁目、猫実5丁目の避難者を3階の避難スペースに誘導する。

【把握班】

（1）猫実3丁目避難場所（2名）

- ① 避難者に教室の机・椅子を前の黒板側に寄せるよう指示する。
- ② 6－1の教卓を廊下に出し、受付を作り、猫実3丁目の避難者の受付を行う。（世帯数の把握と教室への案内）
- ③ 避難世帯調査票を書いてもらい回収する。
- ④ 人数、世帯数を本部へ報告する。
- ⑤ それ以外の避難者を所定の場所に誘導する。

（2）猫実5丁目避難場所（2名）

- ① 避難者に教室の机・椅子を前の黒板側に寄せるよう指示する。
- ② 4－2の教卓を廊下に出し、受付を作り、猫実5丁目の避難者の受付を行う。（世帯数の把握と教室への案内）
- ③ 避難世帯調査票を書いてもらい回収する。
- ④ 人数、世帯数を本部へ報告する。
- ⑤ それ以外の避難者を所定の場所に誘導する。

必要品一覧【避難者誘導・把握班】（3階担当）

必要品	個数		行動（内容）
3階誘導班			
誘導掲示ボード	1	枚	各避難場所を示したもの
3階把握班			
「猫実3丁目」貼り紙	1	枚	受付の前に貼り出す。（受付用机6－1教卓）
「猫実5丁目」貼り紙	1	枚	受付の前に貼り出す。（受付用机4－2教卓）
セロテープ	1	個	
避難者世帯調査票	1	式	避難されて来た方々に記入していただく。
鉛筆	1	式	
腕章	5	個	避難誘導班（1） 把握班（4）

体育館避難スペース作成班

◆配置場所：体育館

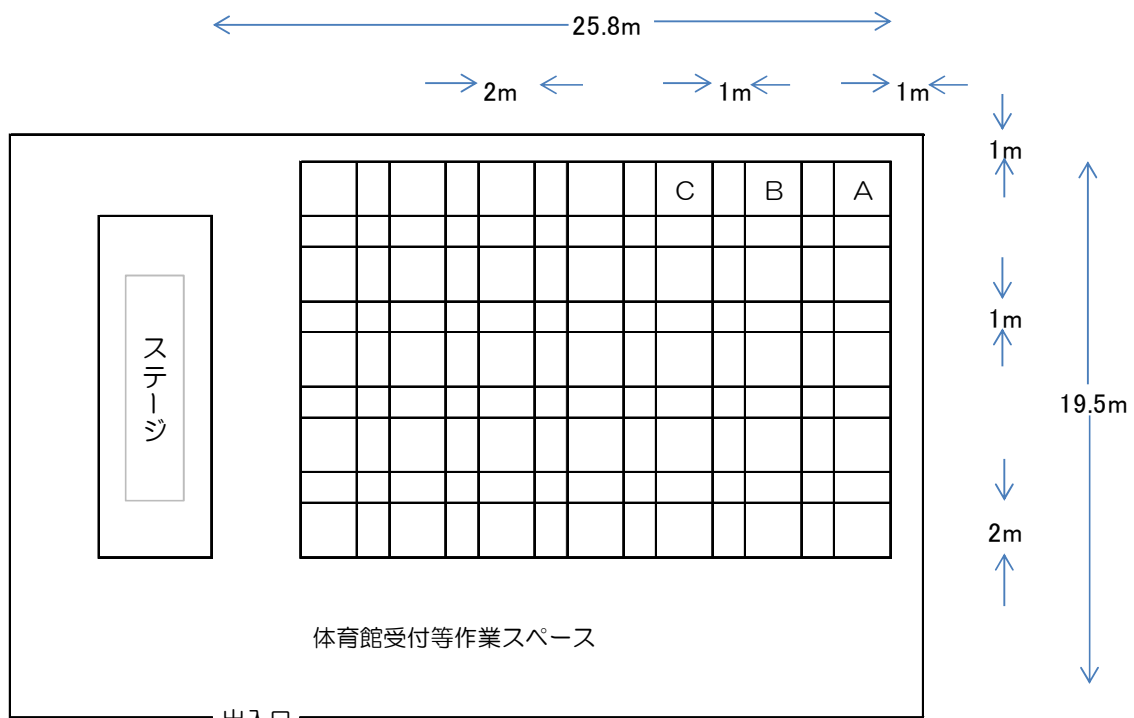
◆行 動：

- ① 体育館避難スペース作成班の活動ボックス内の指示書の内容を確認する。
- ② 避難所開設当初、引き取り児童、引き取り園児が残っているため、避難所開設時（初動期）の施設計画図の本校舎以外避難者スペース側（体育館南西側）から、ビニールテープで避難者スペースを作成していく。スペース割りについては次ページの図のとおりとする。
- ③ 避難者のための1スペースを2m×2mとする。体育館は帰宅難民の想定のため、1スペース1人とする。隣りとの間を1mとする。この1m分が通路となる。
- ④ 残っている引き取り児童が本校舎図書室に移動してから、体育館全体の割り振りを行う。

必要品一覧【施設点検班】

必要品	個数		行動（内容）
※巻尺	3	個	校庭側昇降口内のロッカーにあるものを利用する。
ハサミ	4	個	ビニールテープを切る。
ビニールテープ	1	式	水色のビニールテープ 体育館のフロアに貼る。
体育館避難スペース割り図	2	部	スペース割りの参考とする。
腕章	4	個	施設点検班（4）

◆体育館避難スペース割り図



- 1 校庭への出入口^{出入口}には避難者をおかず、避難通路を確保する。
- 2 A、B、Cなどこの図の奥の方から避難スペースを作っていく。

施設点検班

◆配置場所：構内巡回

◆行 動：

- ① 施設点検班の活動ボックス内の指示書の内容を確認する。
- ② トイレ入り口にテープで使用禁止の表示を行う。
- ③ 水道に使用禁止の表示を行い、蛇口部分をガムテープで固定する。
- ④ 校舎・校庭の被害状況を点検する。点検場所は、次のとおりである。点検結果は、図面に記入すること。

○ガス漏れ、薬品の漏洩、出火の確認

1階 保健室のガス器具、用務員室のガス器具、シャワー室のガス器具

2階 理科室のガス器具、理科準備室の薬品

3階 家庭科室のガス器具

○校舎の壁、柱の亀裂

どこに亀裂や破損があるか

○ガラスの破損

どこに破損があるか

○正門、南門

自動車が入れるかどうか

○校庭のフェンスの倒壊、樹木の倒壊、液状化による亀裂、浸水

緊急車輛等が入ってくることができるか

テントを設置できるか

仮設トイレを設置できるか

- ④ 施設計画図の×の箇所に立ち入り禁止箇所の表示を行う。
- ⑤ 点検結果は、本部に報告する。
- ⑥ 外国語の表示を行う。

必要品一覧【施設点検班】

必要品	個数		行動（内容）
施設点検チェックリスト図	1	枚	施設点検チェックリスト図をもとに各階を点検する。
立入禁止・使用禁止テープ	1	セツ	立入禁止エリアや使用禁止施設を設定する。
立入禁止・使用禁止表示	10	セツ	日本語と外国語の表示を行う。
セロテープ	1	個	
ガムテープ	1	個	
鉛筆	1	式	
腕章	4	個	施設点検班（4）

仮設トイレ設置班

◆配置場所：校庭西側（中央公民館側）

◆行 動：

- ① 施設点検班の活動ボックス内の指示書の内容を確認する。
- ② 備蓄倉庫を開け、仮設トイレを搬出する。
- ③ 校庭西側（中央公民館側）に仮設トイレを設置する。
- ④ 仮設トイレ設置予定場所の液状化の有無などを確認し、設置に適する場所を決定する。排水溝が有るかどうかを確認する。
- ⑤ 仮設トイレを組み立てる。組立方法は、仮設トイレの箱に同封されている。1基あたり4人程度で組立にあたる。
- ⑥ 西門に一番近いところに身障者用の仮設トイレを設置する。（少し大きいサイズのもの）
- ⑦ 電灯、トイレトペーパーを取り付ける。
- ⑧ 男性用、女性用の区別を表示する。
- ⑨ 設置状況を、本部に報告する。

必要品一覧【仮設トイレ設置班】

必要品	個数		行動（内容）
移動経路図	1	部	防災倉庫への移動経路図
設置位置図	1	部	仮設トイレの設置位置図
軍手	8	足	
ハンマー	3	個	
腕章	4	個	施設点検班（4）

備蓄資機材確認班

◆配置場所：備蓄倉庫

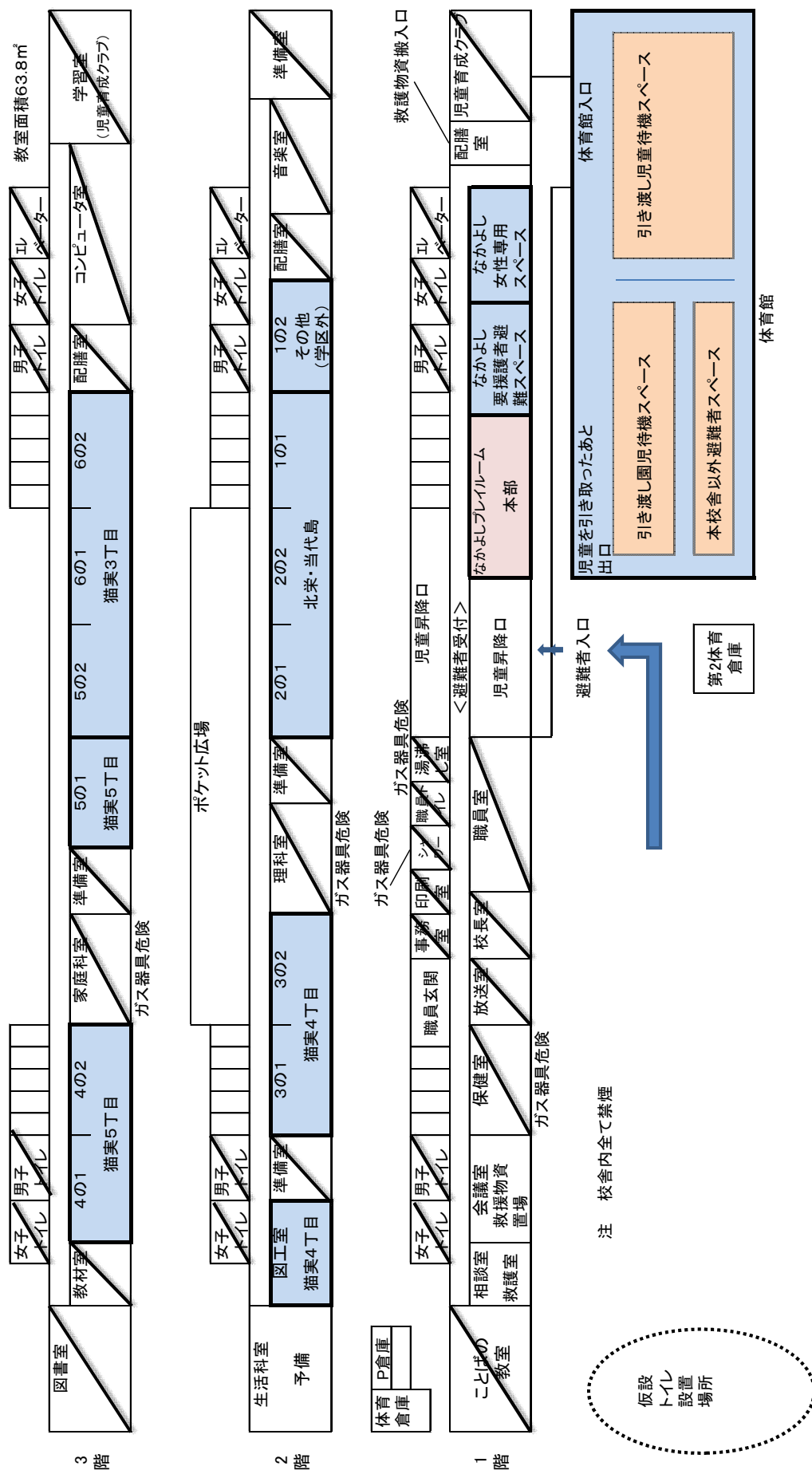
◆行 動：

- ① 備蓄資機材確認班の活動ボックス内の指示書の内容を確認する。
- ② 防災倉庫内の備蓄資機材一覧表をもとに、有無及び数量を確認する。
- ② 確認状況を、指揮調整班に報告する。

必要品一覧【備蓄資機材確認班】

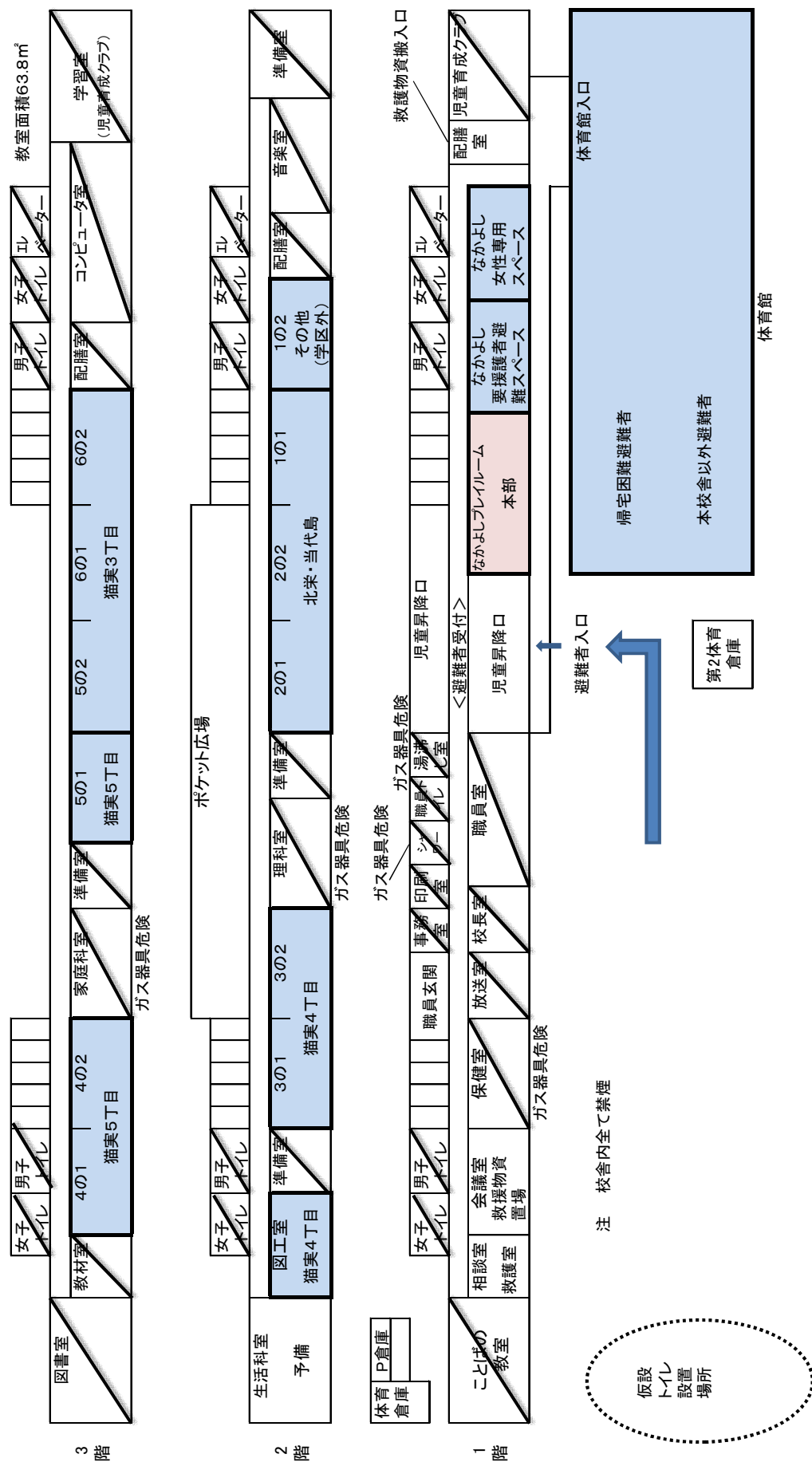
必要品	個数		行動（内容）
移動経路図	1	部	防災（備蓄）倉庫への移動経路図
備蓄品一覧チェック表	1	部	備蓄品の有無（個数）を確認する
鉛筆	1	式	
腕章	4	個	備蓄資機材確認班（4）

資 料 編



避難所運営時の施設計画

浦安市立浦安小学校 避難所運営時の設計計画図



避難世帯調査票（避難世帯・帰宅困難者）

		避難所名					
①	世帯代表者 氏名				住 所		
家族	入所年月日	年	月	日	電 話	自宅 携帯	
	(ふりがな) 氏 名	性 別	年 齢	続 柄	(就学先名)	病気・アレルギー等、留意 点をご記入ください。	援 護
							要 否
							要 否
							要 否
							要 否
							要 否
							要 否
②	避難所居住の要否		要 ・ 否				
	食料・物資の供給希望		有 （ 食料・物資 ） ・ 無				
	緊急連絡先 (親族など)		住所 氏名 電話				
③	防災機関以外からの問い合わせがあった場合、住所・ 氏名を公表してもよいですか					よい ・ よくない	
④	退出年月日	年 月 日			(備考)		
	(転出先) 自宅・その他 住所						
	氏名 電話						

※ 記載された内容については、防災関係機関で必要な場合に限り使用することを承諾します。

記入者 _____

備蓄品一覧

平成29年度作成

品 名	数 量	品 名	数 量
サバイバルフーズ(シチュー)	1620	生理用品(43枚×30袋)	1
サバイバルフーズ(雑炊)	9720	簡易トイレ(マンホール型)	2
マッチ	1	簡易トイレ用交換袋 (1セット20回×10袋入)	120
木炭(1箱6kg)	20	ハンドマイク	5
炭の缶詰	60	発電機(1500W)	1
水槽	2	投光機(本体)	2
簡易食器(紙コップ)	2000	投光機(三脚)	2
簡易食器(紙ボール)	1200	投光機(コードリール)	2
簡易食器(スプーン)	2000	強力ライト	17
炊飯袋	3000	寝袋	3
かまどセット(5升用)	5	ベンリーテント	2
ポリタンク(20L)	50	防水シート	310
担架	5	事務用品	1
救急箱	2		
簡易トイレ(サニター)1台10回分袋入	60		
携帯用下着(ショーツM)1袋3枚入り	400		
携帯用下着(ショーツL)1袋3枚入り	400		
携帯用下着(ブリーフM)1袋3枚入り	400		
携帯用下着(ブリーフL)1袋3枚入り	400		
携帯用下着(ブリーフLL)1袋3枚入り	400		
携帯用下着(トランクスM)1袋2枚入り	400		
携帯用下着(トランクスL)1袋2枚入り	400		
毛布	1000		
マット	940		
サバイバルブランケット	30		
簡易トイレ(ベンクイック洋式)	6		
簡易トイレ(ベンクイック洋式 車椅子対応)	2		

※確認後は、指揮調整班に報告すること。

[illegible]

【チェック項目】

- | | |
|--|--|
| ☐ ガラスの破損 | ☐ ガス器具の損傷、ガスの漏洩 |
| ☐ 室内の椅子、棚などの転倒 | ☐ 照明器具の破損 |
| ☐ 床、柱、壁などの亀裂、損傷 | ☐ 南門の通行の可能性 |
| ☐ グラウンドの液状化、樹木、フェンス等の倒壊 | |

※トイレ、水道はすべて使用禁止です。（使用している人への注意もお願いします。）

※特に気づいた点があれば、ここに書いてください。

--

自治会一覧

No.	自治会名・地域	
1	猫実3丁目自治会	猫実3丁目 全域
2	猫実4丁目自治会	猫実4丁目1番～15・17・18番 当代島1丁目14番～21番
3	八区自治会	猫実4丁目16番、19番～21番 猫実5丁目 当代島1丁目14番～21番
4	九区自治会	当代島1丁目4番～13・22番～30番 当代島2丁目、3丁目
5	十区自治会	北栄1丁目、2丁目

浦安小学校 地区こども会・学区

No.	地区こども会		学区
1	六区こども会	猫実3丁目 ※猫実1・2丁目、北栄3・4丁目 海楽1・2丁目	当代島 1丁目 猫実 3丁目 猫実 4丁目 猫実 5丁目 北栄 1丁目 1～3番 13～17番
2	七区こども会	猫実4丁目、北栄1丁目 ※北栄2丁目 堀江3丁目	
3	八区こども会	猫実5丁目 ※堀江4丁目	
4	九区こども会	当代島1丁目 ※当代島2・3丁目	

浦安小学校避難所開設・運営マニュアル

平成28年3月

作 成 浦安小学校避難所運営
マニュアル策定委員会

連絡先 浦安市教育総務部教育総務課
TEL 047-351-1111(代表)